

《他学部開講科目一覧表》

商学部			経営学部		
科目名	単位	備考	科目名	単位	備考
流通政策	2		経営史Ⅰ	2	
マーケティング論	2	※	経営史Ⅱ	2	
マーケティングマネジメント	2	※	経営情報論Ⅰ	2	
マーケティング戦略	2		経営情報論Ⅱ	2	
ブランド・マネジメント	2		企業論Ⅰ	2	★
市場調査の方法と分析	2		企業論Ⅱ	2	★
サービスマーケティングA(全業種)	2		経営組織論Ⅰ	2	
サービスマーケティングB(業種別)	2		経営組織論Ⅱ	2	
国際マーケティング	2		マーケティング論Ⅰ	2	
国際マーケティング戦略	2		マーケティング論Ⅱ	2	
マーケティング・コミュニケーション	2		労務管理論Ⅰ	2	
マーケティング・コミュニケーション戦略	2		労務管理論Ⅱ	2	
消費社会と消費者行動	2		生産管理論Ⅰ	2	
消費者行動とマーケティング	2		生産管理論Ⅱ	2	
資源・環境と産業発展	2		経営管理論Ⅰ	2	★
商品観と資源・環境	2		経営管理論Ⅱ	2	★
消費者と産業発展	2		経営戦略論Ⅰ	2	
生活様式と産業発展	2		経営戦略論Ⅱ	2	
土地と住宅の経済	2		工業経営論Ⅰ	2	
住居の流通と管理	2		工業経営論Ⅱ	2	
まちづくりと住まい	2		経営科学Ⅰ	2	
都市政策Ⅰ	2		経営科学Ⅱ	2	
都市政策Ⅱ	2		会計情報システムⅠ	2	
原価計算論	2		会計情報システムⅡ	2	
管理原価会計	2		比較文化論Ⅰ	2	
管理会計論Ⅰ	2		経営学史Ⅰ	2	
管理会計論Ⅱ	2		経営学史Ⅱ	2	
財務諸表論Ⅰ	2		情報社会論Ⅰ	2	
財務諸表論Ⅱ	2		情報社会論Ⅱ	2	
キャッシュフロー会計論Ⅰ	2		情報社会論Ⅲ	2	
キャッシュフロー会計論Ⅱ	2		グローバル経営論Ⅰ	2	
税務会計論	2		グローバル経営論Ⅱ	2	
監査論Ⅰ(基礎論)	2		財務会計Ⅰ	2	
監査論Ⅱ(実践論)	2		財務会計Ⅱ	2	
経営分析	2		経営財務Ⅰ	2	
私たちの生活と金融	2		経営財務Ⅱ	2	
日本の金融システムの諸課題	2		金融と証券Ⅰ	2	
経営学Ⅰ	2		金融と証券Ⅱ	2	
経営学Ⅱ	2		国際経営論Ⅰ	2	
人事管理と労使関係	2		国際経営論Ⅱ	2	
比較経済システム	2		会計の基礎Ⅲ	2	
国際地域研究(アジア中心)	2		会計の基礎Ⅳ	2	
国際地域研究(旧ソ連・東欧)	2				
物的流通と情報化	2				
電子商取引(eコマース)	2				
地域情報ネットワーク論	2				
流通・経済関連法	2				
会社法	2				
税法	2				

商学部：8単位 経営学部：8単位まで履修および修得可。

※マネジリアル・マーケティングを既に修得している場合はマーケティング論、マーケティングマネジメントは履修できません。

★「企業論」、「経営管理論」を既に修得している場合は「企業論Ⅰ・Ⅱ」、「経営管理論Ⅰ・Ⅱ」は履修できません。

注) 年度によって履修不可となる科目がある場合があります。

学 部 固 有 科 目 新 旧 対 照 表

履修条件：①を修得した場合、②の1科目または2科目とも履修登録することができません。

① 旧科目名			② [新] 科目名				
開講年次	科目名	単位	開講年次	科目名	グレード	単位	備考
1	経済の歩みと仕組み	4	1	「経済と経済学の歩み」「マクロ経済学入門」「ミクロ経済学入門」の中からいずれか2科目を選択	A	各2	必修
1	入門経済分析	2	1	経済数学	A	2	必修
2	経済統計	4	2・3・4	産業連関分析	B1	2	
			2・3・4	経済統計論	B1	2	
2	日本経済論	4	2・3・4	日本経済の基礎	B1	2	
			2・3・4	日本経済論	B1	2	
3・4	理論経済学	4	2・3・4	マクロ経済学	B1	4	
3・4	景気変動論	4	2・3・4	現代の景気循環	B1	2	
			2・3・4	景気変動論	B2	2	
3・4	価格理論	4	2・3・4	ミクロ経済学	B1	4	
3・4	計量経済学	4	2・3・4	計量経済の基礎	B1	2	
			2・3・4	計量経済学	B2	2	
3・4	情報処理論	4	2・3・4	経済情報の活用	B1	2	
			2・3・4	経済シミュレーション	B1	2	
3・4	経済学史	4	2・3・4	経済学史	B1	2	
			2・3・4	現代経済学史	B2	2	
3・4	日本経済史	4	2・3・4	日本経済史	B1	2	
			2・3・4	現代日本経済史	B2	2	
3・4	財政学	4	2・3・4	財政の基礎	B1	2	
			2・3・4	財政の仕組み	B1	2	
3・4	公共経済学	4	2・3・4	租税の経済学	B2	2	
			2・3・4	市場と規制の経済学	B2	2	
3・4	経済政策	4	2・3・4	経済政策	B1	2	
			2・3・4	財政政策	B1	2	
3・4	金融論	4	2・3・4	金融の基礎	B1	2	
			2・3・4	金融政策	B1	2	
3・4	金融市場論	4	2・3・4	銀行論	B1	2	
			2・3・4	証券論	B1	2	
3・4	リスクと保険	4	2・3・4	ファイナンス論	B2	2	
			2・3・4	保険論	B2	2	
3・4	国際金融論	4	2・3・4	国際金融論	B1	2	
			2・3・4	国際通貨論	B1	2	
3・4	国際経済学	4	2・3・4	国際経済学	B1	2	
			2・3・4	国際要素移動論	B1	2	
3・4	現代貿易論	4	2・3・4	貿易論の基礎	B1	2	
			2・3・4	貿易論	B2	2	
3・4	貿易政策	4	2・3・4	入門貿易政策	B1	2	
			2・3・4	応用貿易政策	B2	2	
3・4	開発経済論	4	2・3・4	開発経済論	B1	2	
			2・3・4	多国籍企業論	B1	2	
3・4	労働経済論	4	2・3・4	労働経済の基礎	B1	2	
			2・3・4	労働経済論	B2	2	
3・4	社会保障論	4	2・3・4	社会保障論	B1	2	
			2・3・4	社会保障制度論	B1	2	
3・4	環境経済論	4	2・3・4	環境経済の基礎	B1	2	
			2・3・4	環境政策論	B2	2	
3・4	交通経済論	4	2・3・4	都市経済学	B1	2	
			2・3・4	交通経済学	B1	2	
3・4	産業組織論	4	2・3・4	産業組織論	B1	2	
			2・3・4	産業政策	B1	2	
3・4	農業経済論	4	2・3・4	農業経済論	B1	2	
			2・3・4	農業政策	B1	2	
3・4	世界地域経済論I〈アジア〉	4	2・3・4	アジア経済論	B1	2	
3・4	世界地域経済論I〈アメリカ〉	4	2・3・4	アメリカ経済論	B1	2	
3・4	情報経済学	4	2・3・4	情報メディア論	B1	2	
3・4	経済史	4	2・3・4	経済史概論	B1	2	
3・4	地方財政論	4	2・3・4	地方政府の経済学	B1	2	
3・4	地域経済論	4	2・3・4	中部経済論	B1	2	
3・4	(専)統計学	4	2・3・4	統計学の基礎	B1	2	
3・4	工業経済論	4	2・3・4	中小企業論	B1	2	
3	演習I	4	3	演習II		4	
4	演習II	4	4	演習III		4	
1	簿記論	4	1	簿記I		2	
			1	簿記II		2	
2	会計学	4	2・3・4	会計学I		2	
			2・3・4	会計学II		2	
2	民法	4	2・3・4	民法I		2	
			2・3・4	民法II		2	
3	商法	4	2・3・4	商法I		2	
			2・3・4	商法II		2	
3・4	行政法	4	2・3・4	行政法I		2	
			2・3・4	行政法II		2	
3・4	労働法	4	2・3・4	労働法I		2	
			2・3・4	労働法II		2	
3・4	国際法	4	2・3・4	国際法I		2	
			2・3・4	国際法II		2	

※科目が分割または科目名に変更のあったもののみを掲載

※新規科目についてはP.98ページ参照

学部固有科目の目的と特徴

経済学部では学部固有科目一覧表により、学部固有科目について、**必修科目16単位・選択科目52単位** (モデル推奨科目含む) ・合計68単位を修得しなければなりません。

(1) 履修モデルについて

経済学部では専門科目について、まとまりのある専門的意識の下に行い4年間の学習がよりが効果的になるようにするため、6つの履修モデル (理論・情報、歴史・社会、財政、金融、国際、環境・福祉) を設けています。

理論・情報モデル

経済学は大きく分けて理論、歴史、政策の3つの側面を持っていますが、これらの内、理論的側面に興味を持つ学生、あるいは経済現象の中で重要な要求の1つである情報や経済現象に関する情報処理 (コンピュータ) に関心を持つ学生は、このモデルを意識した履修計画を立てるとよいでしょう。

歴史・社会モデル

経済現象を理解するためには、日本及び世界におけるこれまで人類が経験してきた経済諸制度、政策、理想、生活、経済学説など歴史的な側面の学習が重要といえます。また、そのつながりにおいて現在の世界、日本の経済状況・社会情勢に興味を持つ学生はこのモデルを意識した履修計画を立てるとよいでしょう。

財政モデル

中央政府である国、地方政府である地方公共団体と等の公共部門の経済的活動、税制や政府の経済政策に興味を持つ学生、将来、公務員や税理士等を目指す学生等はこのモデルを意識した履修計画を立てるとよいでしょう。

金融モデル

経済現象は、実体経済と貨幣経済の側面に分けることができますが、このコースは貨幣や金融の側面を中心とした科目から構成されています。貨幣とは何か、金融を巡る制度と理論、金融機関の制度、国際的な金融の仕組みと理論等に興味を抱く学生はこのモデルを意識した履修計画を立てるとよいでしょう。

国際モデル

今や経済は国際化し、グローバル化しています。国際間の経済取引である貿易あるいは海外投資に関する理論と実際、また国際間のカネの動きである国際金融の仕組みと理論に興味を抱き、世界的視野から経済学を勉強したい学生はこのモデルを意識した履修計画を立てるとよいでしょう。

環境・福祉モデル

地球的、国民的規模における自然破壊、汚染等の環境問題、急速に進展する人口の高齢化現象等が我々の重要な今日的課題となっています。このコースにはこれらに関連する科目が含まれ、これらを経済学的視野から勉強しようとする学生はこのモデルを意識した履修計画を立てるとよいでしょう。

学部固有科目の履修上の留意点

学科目の年次配当	学部固有科目は年次配当を実施していますので、上級年次の科目を履修することはできません。ただし、上級年次生は下級年次に配当されている科目を再履修することができます。										
年次配当の変更について	平成15年度より新カリキュラム移行に伴い、学部固有科目の3・4年次配当科目が全て2～4年次配当科目に変更されます。 従って、学部固有科目については2年次以降全ての科目が履修可能となります。										
必修科目	必修科目は、5科目16単位を修得して下さい。										
「入門経済分析」	今年度この科目を再履修する場合は、1年次春学期または秋学期開講の「経済数学」(2単位)を履修して下さい。										
「データから見た経済」	今年度この科目を再履修する場合は、1年次春学期または秋学期開講の「データから見た経済」(2単位)を履修して下さい。										
「経済の歩みと仕組み」	今年度この科目を再履修する場合は、1年次春学期または秋学期開講の「経済と経済学の歩み」(2単位)、1年次春学期開講の「マクロ経済学入門」(2単位)、1年次秋学期開講の「ミクロ経済学入門」(2単位)の中からいずれか2科目を履修して下さい(複数年度にまたがっても可)。										
「現代経済Ⅰ」	今年度この科目を再履修する場合は、「(再)現代経済Ⅰ」(4単位)を履修して下さい。										
「現代経済Ⅱ」	今年度この科目を再履修する場合は、春・秋学期集中開講の「(再)現代経済Ⅱ」(4単位)を履修して下さい。										
選択科目 (モデル推奨科目を含む)	選択科目は、52単位修得して下さい。										
モデル推奨科目	平成14年度より新カリキュラム移行のためコース制は廃止されました。したがって新3年次でのコース登録は不要になるとともに、従来コース科目(選択必修科目)であったモデル推奨科目は必修科目以外を全て選択科目として扱いますので十分注意して下さい。										
履修者数制限	下表科目は履修者数に制限があるため抽選となります。抽選にもれた場合は修正期間に科目の変更を行って下さい。										
「経済情報の活用」 「経済シミュレーション」 「ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ」 「時事英語Ⅰ・Ⅱ」 「産業連関分析」	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(春) 経済情報の活用 (秋) 経済シミュレーション</th> <th>(春) ビジネス英語Ⅰ (秋) ビジネス英語Ⅱ</th> <th>(春) 時事英語Ⅰ (秋) 時事英語Ⅱ</th> <th>(秋) 産業連関分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>履修者数上限</td> <td>1科目あたり 80名 ※40名×2クラス開講</td> <td>1科目あたり 60名 ※30名×2クラス開講</td> <td></td> <td>60名</td> </tr> </tbody> </table>		(春) 経済情報の活用 (秋) 経済シミュレーション	(春) ビジネス英語Ⅰ (秋) ビジネス英語Ⅱ	(春) 時事英語Ⅰ (秋) 時事英語Ⅱ	(秋) 産業連関分析	履修者数上限	1科目あたり 80名 ※40名×2クラス開講	1科目あたり 60名 ※30名×2クラス開講		60名
	(春) 経済情報の活用 (秋) 経済シミュレーション	(春) ビジネス英語Ⅰ (秋) ビジネス英語Ⅱ	(春) 時事英語Ⅰ (秋) 時事英語Ⅱ	(秋) 産業連関分析							
履修者数上限	1科目あたり 80名 ※40名×2クラス開講	1科目あたり 60名 ※30名×2クラス開講		60名							

ゼミナール(演習)

演習Ⅱ・Ⅲは選択科目です。

- ① 3年次復学者・編転入学者においてゼミ「演習Ⅱ」を履修希望する学生は、教務課まで申し出て下さい。
- ② 4年次より新たに「演習Ⅱ」を申込みことはできません。ただし、3年次において履修した「演習Ⅱ」が不合格だった場合のみ、指導教員の下承を得た上で4年次において「演習Ⅱ」の再履修を認めることがあります。
- ③ 3年次において「演習Ⅱ」の単位を修得しなければ、4年次において「演習Ⅲ」の履修登録はできません。また「演習Ⅲ」のみの履修、「演習Ⅱ・Ⅲ」の同時履修は認められません。
- ④ 3年次において「演習Ⅱ」の単位を修得したものは4年次において、極力「演習Ⅲ」の履修登録をしなければなりません。
- ⑤ 原則として「演習Ⅱ」「演習Ⅲ」は同一の指導教員となります。

法学関係科目

法学関係科目は学部固有科目一覧表(P.97)の※印のある10科目です。卒業までに8単位を限度として履修登録と単位の修得をすることができます。但し、これらの科目を履修登録する際には履修条件が存在します。詳細については下表を参照して下さい。

なお、履修の際には履修登録制限単位数に算入し、修得した単位は卒業所要単位数に含めて計算します。

〈履修条件のある科目〉

① 旧科目名	② 【新】科目名	履修条件
民 法	民 法Ⅰ 民 法Ⅱ	
商 法	商 法Ⅰ 商 法Ⅱ	
行政法	行政法Ⅰ 行政法Ⅱ	
労働法	労働法Ⅰ 労働法Ⅱ	
国際法	国際法Ⅰ 国際法Ⅱ	

他学部開講科目
(商・経営学部)

商学部及び経営学部開講の学部固有科目(P.99参照)について、下記注意事項に従い履修登録と単位の修得をすることができます。

- ① 商学部8単位・経営学部8単位を上限とします。
- ② 「他学部開講科目新旧対照表」に記載されている旧科目を既に修得済みの場合、対照となる新科目は履修できません。
- ③ 修得した場合は学部固有科目として認定されます。
- ④ 履修登録制限単位数に算入し卒業所要単位に含めます。
- ⑤ 初回授業時に履修者を制限する場合がありますので履修希望者は、必ず出席するようにして下さい。
- ⑥ 年度によっては諸事情により不開講となる場合があります。開講状況については学科目時間割表で確認して下さい。

〈他学部開講科目新旧対照表〉

学部	①	②	履修条件
	旧科目名	【新】科目名	
商	マネジリアル・マーケティング	マーケティング論	①を修得した場合、②の2科目とも履修登録することができません。
		マーケティングマネジメント	
経営	経営管理論	経営管理論Ⅰ	
		経営管理論Ⅱ	
	企業論	企業論Ⅰ	
		企業論Ⅱ	

海外研修

海外語学研修

本学では全学部生を対象に「海外セミナー」が企画されています。

- ① 本学国際センター企画・主催の「海外セミナー」に参加・修了し、課題レポートを提出することによりフロート単位として認定され、卒業所要単位に含まれます。(通常の成績評価)
- ② 履修登録は不要です。なお、履修登録制限単位には含みません。
- ③ 4年次においては夏期のみが評価の対象となります。

海外ビジネス英語研修Ⅰ(米国)
[1～3年次対象] 秋学期実施

経済学部では独自の主催で「海外ビジネス英語研修Ⅰ」が企画されています。

- ① この研修に参加・修了し、課題レポートを提出することにより学部固有科目として認定され、卒業所要単位に含まれます。(通常の成績評価)
- ② 履修登録は不要です。なお、履修登録制限単位には含みません。
- 説明会・募集時期：10月～12月 ※学部掲示板で案内します。
- その他、詳細についてはパンフレット・シラバス等で確認して下さい。

海外ビジネス英語研修Ⅱ(豪州)
[2～4年次対象] 春学期実施

経済学部では独自の主催で「海外ビジネス英語研修Ⅱ」が企画されています。

- ① この研修に参加・修了し、課題レポートを提出することにより学部固有科目として認定され、卒業所要単位に含まれます。(通常の成績評価)
- ② 履修登録は不要です。なお、履修登録制限単位には含みません。
- 説明会・募集時期：5月～7月 ※学部掲示板で案内します。
- その他、詳細についてはパンフレット・シラバス等で確認して下さい。

海外インターンシップⅠ・Ⅱ
[2～4年次対象]

「海外インターンシップ」は一定以上の総合的な英語能力と相手先(企業)との調整などが必要とされますので必ず事前に相談するようにして下さい。

- ① この研修に参加・修了し、課題レポートを提出することにより学部固有科目として認定され、卒業所要単位に含まれます。(通常の成績評価)
- ② 履修登録は不要です。なお、履修登録制限単位には含みません。
- 募集時期：随時